八尾市指定文化財 安中新田会所跡 旧植田家住宅 ニューズレター

旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

NEWS LETTER
発行部数 3,000 部
Vol.35
2018年1月発行

秋季企画展＆講演会

植田家に潜む"鳥"＆文化財の中の探鳥

旧家でコンサート

昭和のジャズ

連載コラム

「落穂拾い - 今東光の薫風 -（二十九）」

http://kyu-uedakejutaku.jp/

展示のご案内

冬季企画展

「昔のくらしシリーズ：衣の道具」

2018年 1月5日(金)～3月11日(日)　※休館日は P15 をご覧ください

くらしに必要な「衣食住」の中から、「衣」に関する昔の道具を展示中（展示室ほか）

NEWS LETTER
旧植田家だより
KYU-UEDAKE INFORMATION
Volume 35

Contents

4 秋季企画展＆関連講演会
植田家に潜む鳥＆文化財の中の探鳥

6 再発見！【航空写真】に見る八尾

7 市内鉄道まちあるき
～亀の瀬 地すべり見学会～

8 旧家でコンサート
昭和のジャズ

10 関西文化の日・植松灯籠の日（ランプ展）

11 四会所だより（15）-平野屋新田-

12 なにわの伝統野菜栽培日記 ㉟

13 植ちょピ（河内の古民家めぐり、旧家で記念撮影～七五三～）

14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 -（二十九）」

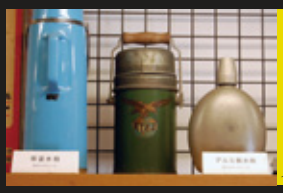
15 旧植田家住宅のご案内

表紙写真

《蓄音機》座敷にて

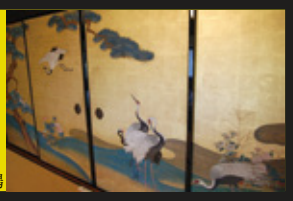
旧植田家住宅が所蔵する大正時代の蓄音機。当時の音楽などが聴けるＳＰレコードも多数のこされ、「旧家でコンサート～昭和のジャズ～」において、この蓄音機の試聴会を行なった。当日の様子は８・９ページに一部掲載。

※『旧植田家住宅だより』のバックナンバーはホームページからダウンロードができます。
http://kyu-uedakejutaku.jp



イーグル（鷲）の水筒

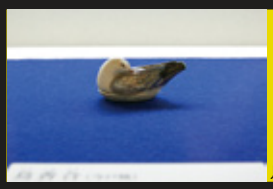
2017.10.26-12.24



座敷1襖絵の鶴

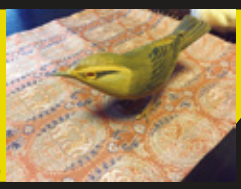
秋季企画展＆関連講演会

植田家に潜む"鳥"＆文化財の中の探鳥



鳥香合（今戸焼）

2017.11.25



木彫の鶯（上野玉水作）

秋季企画展「植田家に潜む〝鳥〟」

２０１７年度の秋季企画展は、10月26日（木）～12月24日（日）の期間中、「植田家に潜む鳥」を開催した。本企画展は、旧植田家住宅に伝わる様々な史資料を別の視点から楽しむことを目的に企画し、書画類を中心におよそ20点の「鳥」に関する掛軸とそのほか「鳥」をモチーフとした美術工芸品数点を一堂に展示した。

自然界の景色や風流を表わす「花鳥風月」という言葉には、生物である鳥が潜んでいるが、現代の私たちの日常においても鳥は身近な存在であり、自然とかけ離れた都会であっても毎日その姿を目にすることができる。その観点から、江戸時代から続く旧植田家住宅にも様々な鳥が潜んでいることがわかる。座敷の襖絵をはじめ、季節や時に応じて床の間に飾られた「花鳥画」は見る人に美しい自然の風景や四季折々の情景を伝えてきた。またハレの日や日用の道具類にも伝統的な文様として鳥が用いられ、人々の心を愉しませる。

本企画展では、展示室だけでなく座敷などあらゆる場所に鳥を潜ませ、往時の植田家と共にバードウォッチングを楽しむ感覚で鑑賞した。

（旧植田家住宅 学芸員　安藤 亮）

展示室にて鳥の掛軸（右、左上）と画帖の鳥（左下）

小さな盃にも鶉（左）や鳳凰（右）が潜む

主屋 床の間に潜む鳥、鳥、鳥。

関連講演会「文化財の中の探鳥」

２０１７年11月25日は、企画展関連講演会として、講師に鳥類学者の須川恒氏（龍谷大学深草学舎非常勤講師、日本鳥学会会員）を招き、「文化財の中の探鳥」をテーマにお話いただいた。講演は、京都岡崎碧雲荘での襖絵調査の話を手がかりに、文化財と自然財について未だ手付かずの文化財の中の探鳥の方法について、ひとつのモデルケースを提示された。また文化財と自然財にまつわる茶道具の羽箒や江戸時代の旧家で発見された貴重な鳥の記録のトピックについても話された。後半は、「雁」の生物学的文化史的な話題から、次世代への継承としてワイルドアートの可能性にも注目し、自然財をめぐる課題を参加者と共有した。

鳥の襖絵と掛軸がある座敷での講演

再発見！【航空写真】に見る八尾

「再発見！○○にみる八尾」は、毎回異なる○○に当てはまるテーマを通じて八尾を再発見しようという企画です。今回は「航空写真」をテーマに、昭和23年（1948）から平成19年（2007）までのおよそ60年間の植松周辺のまちの様子の変化を、展示で辿りました。

現在もなお変わり続けるまちの姿ですが、大阪においてはとりわけ昭和45年（1970）の大阪万博の開催あるいは昭和39年（1964）の東京オリンピックを境に、急速な発展を遂げました。かつての旧大和川跡である植松周辺（永畑・龍華・安中）においても、その流路あるいは新田の跡がほとんど分からなくなっています。（『植田家だより34号「四会所だより」』にも掲載）

また今回は①渋川神社・植田家周辺、②八尾駅周辺、③龍華操車場、④龍華小学校、⑤永畑小学校、⑥勝軍寺・龍華中学校周辺の6箇所に焦点を当て、それぞれの場所がどのように変わっていったのかを比較しました。まちの発展の基礎となった旧村（集落）や新田の跡がはっきりとみえる戦後の風景から70年経った現在、これからのまちづくりや未来を想像（創造）するきっかけとしても、航空写真が八尾の歴史を物語ってくれています。

（NPO法人HICALI）

昭和23年（1948）空中写真　国土地理院

①渋川神社・植田家周辺

②八尾駅周辺

③龍華操車場

昭和50年（1975）空中写真　国土地理院

再発見！
【航空写真】にみる八尾
～植松周辺～

2017.10.1-22 in ギャラリー

①渋川神社・植田家周辺

②八尾駅周辺

③龍華操車場跡

平成19年（2007）空中写真　国土地理院

市内鉄道まちあるき

亀の瀬 地すべり見学会

2017年11月1日（水）

排水トンネル工事中に発掘された亀の瀬トンネル

まさかの通行止め!?

大和川に大きな被害をもたらした台風が過ぎ去って一週間後の11月1日(水)は、天気にも恵まれ、「市内鉄道まちあるき～亀の瀬地すべり見学会～」に参加した。

河内堅上駅(柏原市)から目的地の「亀の瀬地すべり資料室」までは徒歩約20分の平坦な一本道。が、まさかの通行止めによって、急きょ三郷(奈良県)から龍田古道を越える別ルートに変更となった。まちあるきが一変してやまあるきに。途中パワースポットの「峠八幡神社」を通過して、予定より20分遅れで無事到着した。

現地では、亀の瀬の地すべり対策の取り組みを知るビデオや資料室の見学のほか、排水トンネルの内部まで職員の方の丁寧な案内でたっぷりと見せていただいた。普段一人ではなかなか参加することができないため、貴重な体験となった。

（参加者）

峠を越えるルートに急きょ変更。やまあるきに…。

パワースポットを通過し、ようやく目的地に到着。

地すべり対策の集水井工

資料室の見学（上）
排水トンネル入口（中）
排水トンネル内部（下）

旧家でコンサート♪

終演後の様子

リハーサル風景

昭和のジャズ

2017年

10月14日(土)18時30分開演

※終演後、蓄音機の試聴会も行いました。

出　演	倉持杏樹	Anju Kuramochi	ボーカル
	渡辺桃子	Momoko Watanabe	ピアノ
	山内　融	Toru Yamauchi	ベース
	橋田正和	Masakazu Hashida	ドラム

旧家でコンサート　昭和のジャズ

旧植田家住宅で毎年開催されるお楽しみの一つといえば、そう、「旧家でコンサート」。昨年の「旧家でＢｏｓｓａ（ボッサ）」から早一年が経ち、今年もやってきました。

昨今の電子情報機器の発達や昭和ブーム（？）の影響から、昭和の時代を楽しんだりなつかしむことが多くなりましたが、音楽においては洋楽・邦楽問わず、たくさんの名曲が生まれました。そのようなことで今回のテーマは「昭和のジャズ」。それもカセットテープやＣＤではなく「蓄音機」から流れてくるような昭和の薫り漂う音楽11曲が披露されました。

コンサートは、昭和８年(１９３３)アメリカの流行歌「It's Only a Paper Moon」か

らはじまり、杏樹さんのフレッシュなトークとともに進行していきます。「You'd Be So Nice To Come Home To」（1942）、「The Tennessee Walts」（1946）、「Coffee Rumba」（1958）と、演奏曲の年代が少しずつ上がっていく趣向に、客席の昭和熱も徐々に高まっていきました。

日本でも馴染みの曲が次々と飛び出す中、「昭和歌謡懐かしのメドレー」が演奏されると、思わず一緒に口ずさんだり、手拍子や振りなどを演奏者と一体になって楽しむことができました。そして、いよいよコンサートは終盤へ。昭和3年（1928）「Mack The Knife」にいったん時代が戻り、最後は名曲「What a Wonderful World」（1967）で、ひとつの時代が終わっていきます。また、アンコールには同じく昭和のジャズのスタンダード「A列車で行こう」がボーカルによる列車の警笛からスタートし、新たな音楽が走り出していきました。

江戸時代から昭和時代まで生活されていた旧植田家住宅には、今なお昭和の雰囲気が残されています。そんな建物に音楽が自然と溶け込んでいくような一夜でした。

（旧植田家住宅 学芸員　安藤亮）

ジャズのスタンダードから懐かしの歌謡曲まで、昭和のメロディーが次々と飛び出した。

杏樹さんの新鮮なトークにも注目。

昭和の薫り!?蓄音機試聴会

「旧家でジャズ」終演後は、もうひとつのお楽しみ、「蓄音機の試聴会」を座敷で行いました。昨年度修理から帰って来たばかりの蓄音機は、今回初のお披露目となり緊張気味の様子。ちなみにこの蓄音機は、大正13年製のもので、同時に収蔵されているSPレコードの内容からも、実際に昭和の中頃まで使われていたものと思われます。

大勢の人たちに見守られる中、果たしてその音声は…。現代の音楽プレーヤーとは違い、ゼンマイの力で動く蓄音機。最初に掛けた曲はコンサートでも演奏された「テネシーワルツ」でしたが、レコードの状態もあり、やっぱり途中で止まっちゃいました。でもそこはご愛嬌。続く桂五郎さんの流行歌（誰も知らない!?）は最後まで無事に歌いきり、今後もますます活躍の場が増えそうな蓄音機でした。

大勢の人が見守る中…

関西文化の日

植松灯籠の日

（夜間開館）

2017. 11.18（sat）

関西文化の日・植松灯籠の日

今年度は11月18・19日の2日間、「関西文化の日」による入館無料の日があり、18日（土）は今年2回目の「植松灯籠の日（夜間開館）」を行ないました。

元々は地域の方に灯籠をPRするイベントとして始めましたが、夜の特性を活かした三時間限定の展示「ランプ（灯り）のミニ展」も昨年から土蔵で実施しています。ここでは植田家所蔵のランプ数点のほか、現在日本で唯一ハリケーンランタンを製造する㈱WINGED WHEEL（八尾市北亀井）製の貴重なランプの数々を展示させていただきました。また、毎年11月に八尾市が行なう「文化・新人賞」授与の副賞に同社のランプが記念品として採用されているということで、展示では平成29年度文化新人賞受賞者のAndre（アンドレ）氏からランプをお借りしました。

すこし肌寒い11月の静かな夜でしたが、燈籠とランプの灯りによって、来場者は心身ともに温かな一時を過ごすことができたのではないでしょうか。次回開催もお楽しみください。

（旧植田家住宅 スタッフ）

WINGED WHEEL社の貴重なランプ

直火の灯るランプ（上）と記念ランプ（下）

植田家所蔵のWINGED WHEEL社製ランプ

四会所だより（15）

新田会所「旧植田家住宅」見学記

門をくぐると　異空間

コーヒー一杯にもみたない入場料で昔の世界にタイムスリップできるのはありがたい。安中新田会所跡旧植田家住宅には、これまで五、六度行く機会があり、昨年の秋にも二度ほど訪れた。不思議とその度に住居としてほんの少し前まで生活が続いていたことが伝わってくる。炊事場のかまどや大きな土間、座敷などを見ていると、はるか昔の田舎の家で自分の祖父母が立ち働いている姿が浮かんでくる。今という空間のなかに少し昔の時間が並行して流れているのが何ともいい。

大阪府内にはいくつかの新田会所屋敷が残され、それぞれの良さと特徴があるが、「旧植田家住宅」は私の身の丈に合った存在だ。その門をくぐるたびに懐かしさと日常からちょっと離れた時が訪れてくる。ときには行ってみるのもいいものだ。

私たちの大東市にも、十年ほど前まで二千坪を越える「平野屋新田会所屋敷」があったが（想像図参照）、一部の建物の礎石部分以外は宅地化されてしまった。しかし、会所周辺の街なかに、三百年前の新田開発当時からの水路や石造りの樋門がたくさん残っている。

私たち「平野屋新田会所市民サポーター会議」は、今、新田水路と水の流れの変遷・その訳を調べている。これらの水路や樋門とその歴史が「旧植田家住宅」と同様、市民にこころの豊かさをもたらす財産として活用できないかと活動を続けている。

（平野屋新田会所市民サポーター　水永八十生）

平野屋新田会所屋敷想像図

平野屋新田かみなり樋門と井路

●大東市立歴史民俗資料館

- 大東市野崎3-6-1（来ぶらり四条2階）
- JR学研都市線「野崎」駅下車。徒歩約10分
- 9:30～19:30開館（第1・3火曜日は休館）

※平野屋新田会所跡はここではありません。

◎会所の魅力満載！
新風書房『大阪春秋』第167号
特集「新田開発と新田会所」
（2017年 7月発行 A4版 120頁）
（定価1,000円+税）
書店または旧植田家住宅でも
絶賛販売中

ちっちゃいケド…

なにわの伝統野菜 栽培日記

No.35

「でっかいde賞」

【田辺大根フェスタ2017】

どうひいき目に見ても全然大きくはないのだが、なぜか頂いた「でっかいde賞」。何はともあれ、ありがたい事です。

そして初の畑メンバーの入賞も!!3度目の挑戦で一生懸命に育てたKちゃんの大根が「かわいいde賞」を頂きました。よかったね、Kちゃん^^

「かわいいde賞」

3年目にして念願かなう。

コレこそ「でっかいde賞」!?

おまけ

会場近くで見つけた「きゅうり巻き」

植田家住宅の・ちょっとした・トピックス

植ちょピ（ックス）

話題

◆河内の古民家13ヵ所を巡る、「古民家めぐりスタンプラリー」を実施

2017年11月1日(水)～30日(木)

11月の「関西文化の日」を記念して実施した「河内の古民家めぐりスタンプラリー」では、「古民家の保存と継承」を目的として、古民家を所有する関係各所および住人の方々との交流を深め、古民家に対する人々の関心を高めた。

前年度、第一回目の開催では、植田家住宅を含む8ヵ所の古民家がこのスタンプラリーに参加したが（「植田家だより31号」参照）、今回は新たに藤野家住宅（藤井寺市）、中山家住宅（松原市）、畑田家住宅（羽曳野市）、旧杉山家住宅（富田林市）、梶谷家住宅（河内長野市）の5ヵ所が加わり、13ヵ所となった。このうち8ヵ所以上のスタンプを集めると景品に応募ができ、期間中は各古民家に多くの人が訪れた。

今後も古民家を活用したイベントの開催を予定している。乞うご期待。

スタンプ台紙を購入すると、オリジナルの缶バッチが付く

◆旧家で記念撮影～七五三～

2017年11月3日(祝)～26日(日)

植田家住宅の座敷や庭で自由に記念撮影ができる「旧家で記念撮影」は、「こどもの日」「ひなまつり」「成人の日」などの年中行事や特別な日にあわせて呼びかけを行なっている。

11月は「七五三」にあわせ、近隣の渋川神社へお参りに来た家族を対象に呼びかけを行ない、来館者の子どもには「七五三くじ」と題したおみくじも引いてもらった。おみくじは、7か5か3が出ると景品がもらえたが、誰一人出ることはなかった。

なお施設内の撮影は、一部の場所や展示資料を除き、普段も行なうことができる。思い出作りや記念にいつでも足を運んでほしい。

松と鶴の描かれた金襖を背景に、晴れやかな着物が映える

マンジーくん

安富士 暁

落穂拾い
―今東光の薫風―（二十九）

文・伊東 健

称徳女帝の薨去後、道鏡は失脚して下野国の薬師寺別当へと左遷され、中央政界から追われます。由義宮で催された歌垣からわずか半年足らずで境遇が激変したことを道鏡がどのように受け止めたのかは、史実としては全く残されていません。また数多くの道鏡や孝謙称徳女帝に関する小説も書かれていますが、下野国に向かう道鏡の姿に言及している描写は極めて珍しく、その意味でも今東光作「弓削道鏡」は特筆すべき作品だと言えます。

道鏡は食事となると海道の宿駅で摂らず、奴婢等と共に野天で食べた。

「わしもお前等と同じじゃったよ。河内の弓削村で、土をこねて、牛馬の尻を追うて」

と言いながら、自由人になった彼等が嘻々として接待するのを受けた。

山を越え、幾つかの河をわたり、下総に入った。此処では下総の御牧の牧童等が彼を迎えた。此所で彼も名馬を手に入れたことがあったからだ。

下野に入って薬師寺に到着すると一山の大衆が整列して迎えた。

「ほう。此所は河内そっくりじゃ」

日光の山波が生駒山系のように横たわり、鬼怒川が蜿々と流れている平野は美田が涯しなくつづいている。よく晴れた日は筑波嶺が、くっきりと絵に描いたように見えるのであった。道鏡が薬師寺の別当に来られたと聞き伝えた奴婢等は、少なからずこの平野に入り込んで、彼につかえた。彼等は別当のために、その辺を河内と呼んだ。（『弓削道鏡』昭和三十五（一九六〇）年二月二十日、文藝春秋新社発行より）

栃木県内には河内町、上河内町、南河内町といった地名が残ると同時に、宇都宮市や下野市周辺には道鏡ゆかりの史跡が数多くあります。女帝亡き後に権力維持の画策をした形跡がない道鏡が、下野薬師寺と縁を結ぶ経緯について、東光は次のような見解を示しています。

その道鏡を処罰しようというのだから藤原氏も寝覚めが悪かったに相違ない。彼等は道鏡を現在の栃木県の薬師寺村、造下野国薬師寺の別当に左遷した。

鑑真和上は東大寺に戒壇院を建てたが、全国の僧侶等の不便を想って、筑紫の観音寺に戒壇院を建て、東国二十六ヵ国の僧侶等のため下野国の薬師寺に戒壇院を建てたのだ。流罪とはいいながら薬師寺別当といえば、その当時にあっては東国の最高の僧職だ。腐っても鯛とはこのことだろう。（『オール讀物』昭和三十五（一九六〇）年新年特別号所収〝魅力の男 道鏡〟より）

道鏡の死は庶民の礼によって葬られたと、史書ではたった一行で片づけられていますが、晩年を過ごした地に伝わる道鏡伝説の豊かな痕跡からは、周囲に愛された仁徳者だったかもしれないとすら想像されます。

「古代下野国の歴史」（昭和六十二（一九八七）年三月三十一日、栃木県立しもつけ風土記の丘資料館発行）に掲載されている下野国分寺の復元写真においても、八尾で出土された由義宮基壇に似た塔があり、東光が道鏡に呟かせた〝河内そっくりじゃ〟は根拠がない妄想ではないことの証明ともいえます。発掘調査ももちろんなく、道鏡に対する偏見が根強い中で、現在でも見直すことのできる小説を残した今東光の想像力に敬意を表すると同時に、改めて道鏡や由義宮に関する興味もそそられます。

【2018年2月～4月】

旧植田家住宅のご案内

今後の展示・企画

毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5組限定)」
〃 第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催!

展 示

2018年

◎1月5日(金)～3月11日(日)

冬季企画展「昔のくらしシリーズ:衣の道具」

◇2/11(日・祝)ギャラリートーク(学芸員による展示解説)
①13:30、②14:30 ― 各30分程。同内容
※小学3年生以上対象

◎3月15日(木)～4月25日(水)

通常展「大和川付け替えと
植田家の収蔵品～資料編～」

展示、イベント等のお知らせは
ホームページもご覧ください
http://kyu-uedakejutaku.jp/

企 画

(詳しくはお問い合せください)

2月

10日(土) 旧家で芸能伝統文化～落語の会～(出演 天満天神の会)
17日(土) 講座「八尾の歴史～伴林光平について～(仮)」(講師:二保泰士氏)
17日(土)～3月18日(日) 旧家で記念撮影～ひなまつり～
25日(日) 連続体験講座「手習い所～壱(いち)～」

3月

25日(日) 連続体験講座「手習い所～弐(に)～」

4月

未定

休館日カレンダー

■＝休館日　□はイベント開催日

2 February

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3 March

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

4 April

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

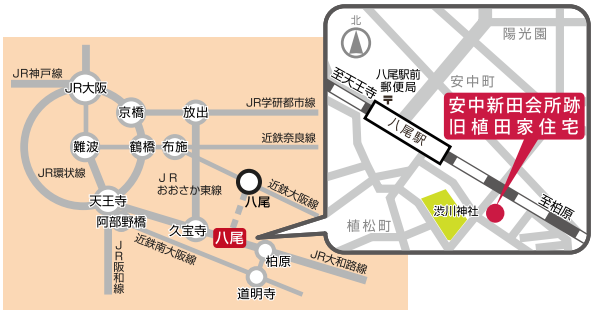
※4月以降の予定は変更になる場合があります

●開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休 館 日:火曜日・祝日の翌日・年末年始
(詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)

●入 館 料:一般250円(団体20人以上で120円)
高校・大学生120円(団体60円)
※中学生以下、身体障がい者手帳等の所持者および介助者は無料

●お問い合わせ・見学のご相談 ※団体予約で案内も行なっています
〒581-0084 大阪府八尾市植松町1-1-25
TEL/FAX:072-992-5311
E-mail: info@kyu-uedakejutaku.jp
※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。



◇JR大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分
◇近鉄大阪線「八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行
JR八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約5分

旧植田家だより
KYU-UEDAKE INFORMATION
Vol.35

本当の幸せって？
本当の豊かさとは？

モノや情報があふれ、それを大量に消費する社会。
人々の価値観は変わり続け、本当に大切なものは・・・

そのような中、人々の考え方は「利己から利他へ」「古き良きものを見つめ直す」のように、
人とのつながり、過去と未来のつながり、社会とのつながりを求めるよう
変化してきているのではないでしょうか？

私たち、株式会社シーズクリエイトは情報を提供する立場にあります。
その情報を活かし、地域のヒト・コト・モノとネットワークを築き、
そのつなぎ役を担うことで新たなコミュニティを創造し、
地域経済を活性させたいと思っています。

安中新田会所跡 旧植田家住宅だより　発行・編集／NPO 法人 HICALI（安中新田会所跡 旧植田家住宅指定管理者）
〒581-0084　大阪府八尾市植松町 1-1-25　TEL.072-992-5311
ホームページ　http://kyu-uedakejutaku.jp　メールアドレス　info@kyu-uedakejutaku.jp
●本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断複写、転載を禁じます。

〈本社・八尾工場〉〒581-0034　大阪府八尾市弓削町南1-18　TEL.072-948-7772　FAX.072-948-7735
〈京都支社〉TEL.075-812-3670　〈神戸支社〉TEL.078-341-8221　〈東京オフィス〉TEL.03-3436-0211
SEEDS CREATE 株式会社シーズクリエイト